

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	株式会社サザンツリー	事業所名	グループホームサザンツリー
所在地	姫路市飾西330番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝朝礼で、理念を唱和、スタッフ会議・運営推進会議で情報共有、HPに掲載し、折にふれ再確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、入居者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ㉡. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩時、近隣住民へのご挨拶や軽いおしゃべり、地域の美容院を定期的に利用して交流している。訪問美容も利用していて、ホーム内の雰囲気も見てくださっている。	近年、これまで入居者と親しくしてくださっていた近隣住民の方が何人か亡くなり、高齢化で一人暮らしとなる方が増えている。このような方々にこちらからお声がけしていく役割を果たしていけたらいいと思う。		
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	㉠. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症や認知症の方への理解が深まるよう、毎回、タイムリーなトピックを取り上げて、参加者に役立てていた。ただけるようつとめている。	入居者の要介護度・平均年齢等の状況を報告している。このほか、ネガティブな情報も公開して、認知症の大変さをご理解いただけるようにつとめている。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	包括センターの方、地域民生委員の方とは、日ごろから会話の機会を設け、話しやすい関係を構築している。	推進会議で外国人介護従事者のトピックを取り上げたとき、認知症高齢者のことだけでなく、地域で働く外国人とのコミュニケーションについても話題になった。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議において、身体拘束ゼロ推進員会を開催している。禁止の対象となる事例を様々な角度から繰り返し取り上げて、研修している。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は明るくお元気で問題なく生活されているのに、居宅時代からしばしば家出する癖があり、入居後立て続けに2回施設を出てしまい、警察に入居者を捜索してもらった話を聞いた。鍵をかけて閉じ込めるわけにはいかず、拘束と自由のバランスが難しいと感じた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、入居者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束ゼロと共通する部分が多いため、同時に研修を実施している。「虐待の芽チェックシート」に記入させて、些細なことが虐待につながることを理解させるようにしている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	推進会議でも、虐待防止の研修をしていただいている。虐待になるようなことはなさそうに思うが、たまに発言が不適切と感じる家族様がいることも事実なので、注意していきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度を利用する方がおられたので、後見人の方とのコンタクトの機会を得た。後見人が誠実な方で、とてもやりやすかった。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、入居者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約書、重要事項説明書に記載されている事項を1時間程度かけて、丁寧に説明している。不明な点は例を挙げて詳しく説明する。記載内容が、よりわかりやすくなるよう見直しを行った。			
9	運営に関する入居者、家族等意見の反映	入居者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の反応や家族の意見は、些細なことでも厳粛に受け止めて、すぐに改善するようつとめている。スタッフ会議で、内容を周知徹底している。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者家族には、いろいろなタイプがおられて、人によってはかなり詳細な説明が求められるが、その都度対応している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	改まって話しにくいので、ちょっとした合間に様子を聞いたり、年1回のアンケートなどで出た意見を他の職員に共有して、改善するようつとめている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員には、年に1回の業績振り返りと自己評価を提出させるとともに、代表者は日々職員にこまめに声かけをして、困りごとがないか聞き取りをしている。通年変わらず。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和6年度の振り返りでは、ジェンダー平等についてのアンケートをとるなど、新しい流れにも敏感に関心を持つようつとめている。

12	職員を育てる 取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤続年数、経験年数、適性、目標などに応じ、無理なく個人のペースで落ち着いて働けるよう個別の配慮を行っている。勤続年数が長い、モチベーションが落ちがちな職員の対応が難しくなっている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤続年数が長い職員が多いのは、安心感がある。一方で、せっかく採用してしても、すぐに辞める人もいるそうで、やはり人材確保が大変そう。
13	同業者との交流 を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化、高齢化により、入居者様に手がかることが増えて、なかなか交流の機会を得ることができていない。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	徐々に機能が低下していく中、できるかぎりたくさん笑顔を見られることを目標に、思いを込めてお声がけし、コミュニケーションをとるようにしている。			
15	馴染みの人や 場との関係継続 の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後も家族や友人との関係が継続できるよう、面会・電話・オンライン面会などの機会を設けている。自宅への外泊や入居前に利用していた温泉に行かれる方もいる。	コロナ禍で長い間交流に制限があったが、現在では、自由に家族との外出や外泊を楽しんでいただいている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のちょっとした言葉や訴えを職員それぞれが受け止めて、それを共有することで、ケアやケアプランに生かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に最近のご様子をお伝えするときに、家族の特性を把握したうえで、適切に伝えるようにしている。ケアプランの内容をよく読んでからお伝えするようつとめている。	参加者に家族が含まれているので、職員によるケアプランの説明について、わかりやすいか、どのようにお考えかをお聞きした。	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム全体で、真摯に取り組まれていると思う。モニタリングとサービス会議では、全員で細かいことまで話し合っているということだった。
	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録には、長文になる傾向がある職員がいるので、あくまでも家族が読みやすいよう適切に記述するよう指導している。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新しく入居した家族からは、記録の内容が詳しいので、様子がよくわかると言われるとのことだった。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近年、看取りへの関心が高くなっている。看取りの加算をとっていないが、ほぼ看取りのような形で最期を看取った方が今年度2名となった。多機能化の一環と考えている。	グループホームに多機能化の期待が高まる中、事業所のワンオペ的な側面も出てきた。職員が覚えることが増えて、ストレスも増えていることを伝えた。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の高齢化や重度化で、気軽な外出やイベント参加は減少している。毎日の散歩だけは継続して、近隣の方に見守っていただきたい。	民生委員の参加者は、引き続き、散歩で見かける入居者の様子を話してくださった。顔ぶれが変わりましたね、など見守ってくれている。		

21	かかりつけ医の 受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受 けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から利用している 医療機関や訪問診 療を継続できる。往診 を利用する入居者には 職員が立ち会い、適切 な診察・治療が受けら れるよう支援している。			
22	入退院時の医 療機関との協働	入居者が入院した際、安心して 治療できるように、また、できる だけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相談 に努めている。あるいは、そ うした場合に備えて病院関係 者との関係づくりを行っている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各医療機関の医師や 看護師と密に連絡をと り、入居者が適切な治 療を受けられるよう情 報提供書の作成等さ まざまな支援を行って いる。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所と医療機関が 連携し、スムーズな入 退院ができるようにし ている。最近では、医 療機関がより力を入れ ているようだ。
23	重度化や終末 期に向けた方 針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり 方について、早い段階から本 人・家族等と話し合いを行い、 事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域 の関係者と共にチームで支援 に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	推進会議で、定期的に 「看取り」を取り上げて いる。看取りのイメージ が家族によってかなり 異なる。関心が高い人 が多く、ていねい説明 しないと、不安にさせ てしまうことがある。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に看取りに近いぎ りぎりまで普通の生活 をさせて、最期を迎え る方が増えているよう で、入居者にとっては よいことではないかと思 う。
24	急変や事故発 生時の備え	入居者の急変や事故発生時に 備えて、全ての職員は応急手 当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けて いる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調急変時にどう行動 するか、マニュアルを もとに、定期的な研修 を実施している。いつ 発生しても慌てないで 動けるようにしている。			救急搬送時された方 の事例を報告してもら った。マニュアルだけ でなく、実際に動いて みると経験値が上がっ てきたと感じる。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時 に、昼夜を問わず入居者が避難 できる方法を全職員が身に つけるとともに、地域との協力 体制を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、避難訓練を実 施し、災害の種類に応 じて、どのように対応 すべきかシミュレーシ ョンしている。	災害時の避難方法や避 難先について情報共有 している。地域住民との 合同訓練の機会は持て ていない	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、避難訓練を実 施していると報告を受 けている。災害時の備 蓄品をどこまで準備す るか悩ましいとのこと。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目先のことを解消するために、ついプライバシーを無視した対応をとる者がまだいるので、繰り返し研修を実施し、助言をしている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経験が長く、より向上する職員と、経験が長いことで普通の感覚を忘れてしまう職員がいるので、後者の指導が大切である。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳を大切に対応できるよう研修している。自分の思う通りに動いてくれない入居者にいら立つ職員は、相変わらず配慮のない対応をとることがあり、引き続き指導していきたい。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者とお弁当やおやつを一緒に作ることを定期的に行っている。「なつかしい」などと記憶を呼び覚ます効果があると感じる。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真を見たり、聞いたりしていると、私たちの自宅での食事より充実していると感じる。とりみや刻みにも対応している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量を毎日記録している。十分な摂取量が確保できない入居者には、個別の方法で栄養を摂取できるようつとめている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとりひとりについて、口腔ケアの最初から最後までを見守ることが難しいが、苦手な方にはなるべく付き添って清潔保持ができるよう心がけている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入れ歯の扱いや洗浄について、職員に支援してもらえるのは助かる。口の中においが気になることがある。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄に失敗しがちな方のパターンを見極め、早めにトイレ誘導を行っている。排泄ケアでも、清潔保持に気を遣っている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一時帰宅時や、外出時、排泄に付き添うと、時間がかかってとても大変なことに気づかされる。お世話になっていることを実感する。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴が好きではない方のお声がけでは、清潔保持のためとはいえ、強制的にならないよう苦心している。入浴を怖がる方もいるので、楽しみながら入浴できるよう工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夕食後、口腔ケア、トイレ誘導をして、スムーズに就寝に入れるように準備している。夜中に起きてトイレに行く方もいるが、覚醒し過ぎないように、静かに誘導している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどできているが、飲み忘れや薬が足りなくなるなどの事象があったので、限りなくゼロにするよう、確認を怠らないよう徹底していく。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	10年以上前は多くの人が服用していた認知症薬を、今は服用している人が減っている。ケアによって認知症に対応しているとのことである。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できないことではなく、できることに目を向けるよう指導している。できることを奪ってしまわないよう、気を付けている。	自分だけ手伝いをさせられている気分になってしまいう方も少なくない。できることが、かけがえのないことであることを伝えていきたい。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マンツーマンの近隣での散歩ができることを事業所のアピールポイントとしている。社会とのつながりが継続できる手段である。家族への外出支援もお願いしている。	歩行できる距離に応じて出かけている。歩行が困難な方は、事業所敷地内の庭やテラスでのティータイムやレクで外出気分を味わっていただいている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物に出かける機会は非常に少ないが、日用品を購入したい方には、近所のドラッグストアに職員が付き添って行く。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの手紙、電話、オンライン面会など、可能なコミュニケーションがとれるよう整備しており、利用していただいている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、入居者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室は、家族の写真や絵を飾っていただいている。リビングには、毎月、季節感のあるディスプレイ作品を作って飾り、季節の移り変わりを感じられるようにしている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつも掃除が行き届いている。花壇には季節の草花が植えてあり、外観からもあたたかみを感じられる。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（入居者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者がどのような場面で笑顔になるか、ちょっとした会話で引き出せる気持ちなどに、共感しながら、穏やかに過ごせるように支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に収集したプロフィールや生活歴、利用していた施設の情報提供書をしっかりと読み込み、ケアに最大限活かすようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人はもとより、家族の希望を聞き取って、毎日職員が観察したこととニーズを鑑みたケアを行っている。		A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の不注意ではなく、職員の不注意でケガなどがあると心配になるが、お任せしている以上、強く訴えにくいことがある。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力が必要であるが、入居前に利用していた医療機関の継続、よく出かけた温泉・飲食店への外出・外泊等ができています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が見ていて落ち着ける、なじみのある持ち物を持ち込むことができる。携帯電話で好きなときに家族に連絡できる。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広さも十分で、清潔なお部屋で、写真を飾って落ち着ける空間になっていると思う。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、家族の協力ものもと、希望する外出、診察、美容院などに出かけることができている。	近距離ではあるが、お花見やピクニック外出、家族付き添いでの外出・外泊、必要な診察などで、外出の機会があることをお伝えしている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができること、できないことをリストにして、できることを継続し、役割を果たす楽しみを感じていただいている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の時間、レクリエーションの時間、おいしい食事の時間で、笑顔になってもらえるようつとめている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問すると、歌声やゲームの笑い声が聞こえてきて、家にいるよりいいと思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩では、近隣のなじみの方から声をかけもらい、野菜や花をいただくなどの交流がある。	入居者から積極的にかかわりを持つことは難しいが、職員を介して、近所の方との情報交換もできていると伝えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活のメリットがある反面、デメリットになって、ちょっとしたことで引きこもる人もいる。それでも、一人暮らしでいるよりも、絶対にいいことが多いと思うにただけるようつとめている。	家族がまったく面会に来られない入居者は、職員に十分かわかってもらっていて、思い切り怒ったり笑ったり、それはそれでとても幸せに生活していただけているという自負がある。	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームの役割が多様化している。長く入居している方は、より長く入居を継続したいが、体調面でのリスクが高まると、グループホームでの生活がままならないこともあり、考えることが増えている。